

ディーラーマニュアル

ワイヤレスユニット

SM-EWW01

重要なお知らせ

- ディーラーマニュアルは自転車安全整備士、自転車技士など専門知識を有する方を対象としています。専門知識のないユーザーがディーラーマニュアルを参照して、部品を取付けないでください。記載されている内容に不明な点がある場合は絶対にご自身で作業せず、購入された販売店、または代理店へご相談ください。
- 各製品に付属している取扱説明書も併せてよくお読みください。
- ディーラーマニュアルに書かれていない製品の分解、改造はおこなわないでください。
- 全ての取扱説明書・ディーラーマニュアルはウェブサイト (<http://si.shimano.com>) でご覧いただけます。
- 地域のルールや法律に従って製品をご使用ください。

安全のため、必ずこのディーラーマニュアルをよくお読みの上、正しくご使用ください。

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

危険

「死亡や重傷を負う恐れが大きい内容」です。

警告

「死亡や重傷を負う恐れがある内容」です。


注意

「傷害を負うことや、財産の損害が発生する恐れがある内容」です。

安全のために

■ はじめに

⚠ 警告

- 製品を取付ける際は、必ず取扱説明書等に示している指示を守ってください。
その際、シマノ純正部品の使用をお勧めします。ボルトやナット等が緩んだり、破損しますと突然に転倒して重傷を負う場合があります。
また、調整が正しくない場合、不具合が発生し、突然に転倒して重傷を負う場合があります。
-  部品の交換など、メンテナンス作業中は、安全メガネまたはゴーグルを着用し、眼を保護してください。
- ディーラーマニュアルはよくお読みになった後、大切に保管してください。

使用上の注意

以下に記載する事項は必ずお客様にも指導してください

- 小型防水コネクタのため、抜き差しを極端に繰り返さないでください。機能が損なわれることがあります。
- ターミナル部を水で濡らさないようご注意ください。
- 雨天走行に耐える防水設計ですが水中にはつけないでください。
- 高圧洗車は行わないでください。水分の侵入により、故障あるいはサビの原因となります。
- 製品は丁寧に扱い、強い衝撃を与えないでください。
- 清掃の際にシンナーなどを使用しないでください。表面をいためる恐れがあります。
- 炎天下に長時間放置しないでください。
- 再組立ができませんので、分解しないでください。
- 清掃は薄めの中性洗剤を含ませた布でふいてください。
- 製品のソフトウェアのアップデートは販売店にご相談ください。最新情報はシマノのホームページに公開されます。
- 通常の使用において自然に生じた摩耗及び品質の経年劣化は保証いたしません。

PCとの接続通信

PCと自転車(システムまたはコンポーネント)を、PC接続機器を用いて接続し、E-tube Projectを用いてコンポーネント単品およびシステムの、ファームウェアアップデート、カスタマイズなどを行うことができます。

- PC接続機器：SM-PCE1/SM-BCR2
- E-tube Project：PCアプリケーション
- ファームウェア：各コンポーネント内のソフトウェア

■ 自転車への組付け、整備に関する事項

使用上の注意

- エレクトリックワイヤーを抜くときは必ずシマノ専用工具TL-EW02を使用してください。
- 必ず指定のエレクトリックワイヤーをご使用ください。
- エレクトリックワイヤーがギア・タイヤなどに干渉しないようにビニールテープなどで固定してください。
- エレクトリックワイヤーの交換等でワイヤレスユニットの両面テープを剥がす場合、フレームの塗装が一緒に剥がれることを防ぐために、接着力は幾分弱くしています。ワイヤレスユニットの両面テープが剥がれてきたときは新しいものと交換してください。ワイヤレスユニットの両面テープを取外す際は勢いよく引き剥がさないでください。フレームの塗装が剥がれます。

製品の組替え・交換を行った場合のご注意

- 製品の組替えあるいは交換を行った場合、システムが自動認識して動作する設定となっています。
- コンポーネントの構成が変わる、もしくは動作に不具合が見られる場合は、E-tube Projectソフトウェアにて各コンポーネントのファームウェアを最新状態にアップデートして再度ご確認ください。また、その際にE-tube Projectソフトウェアが最新状態であることもご確認ください。バージョンが最新でない場合、コンポーネントの互換性や製品機能が十分に発揮されない場合があります。
- 自転車に取付ける際に、エレクトリックワイヤープラグ部を無理に曲げて取付けないでください。接触不良の原因になる事があります。
- ワイヤレスユニットを自転車のフレームから取外す際、スペーサーの両面テープがフレーム側に残る場合があります。この場合はクリーナーを使用して拭き取ってください。

手順の説明を主体としていますので、製品イメージが異なる場合があります。

取付けの前に

対応サイクルコンピューター

SM-EWW01はD-FLY対応サイクルコンピューターが必要です。
詳細はサイクルコンピューターの取扱説明書などを参照してください。



表示される情報は製品によって異なります。
ご使用になられるサイクルコンピューターの説明書をご確認ください。

ペアリング方法について

ペアリングは、対応するサイクルコンピューターが「ペアリングモード」の状態になっている必要があります。サイクルコンピューターをペアリングモードにする方法は、ご使用になられるサイクルコンピューターの説明書をご確認ください。

- 1) サイクルコンピューターをペアリングモードにします。
- 2) ■外装式バッテリーをご使用の場合
ワイヤレスユニットにエレクトリックワイヤーが接続されている事を確認し、その状態で外装式バッテリーをいったん取外し、再度装着してください。
■内蔵式バッテリーをご使用の場合
ワイヤレスユニットにエレクトリックワイヤーが接続されている事を確認し、その状態でワイヤレスユニットに接続されているエレクトリックワイヤー（2本）をいったん取外し、再度接続してください。
(バッテリー再装着あるいはワイヤレスユニットへのエレクトリックワイヤー再接続から数十秒間でペアリングの通信を行います。)
- 3) 以上でペアリングは完了です。

ペアリングが成功したかどうかはご使用のサイクルコンピューター上で確認してください。
上記の方法でペアリングができない場合は、ご使用のサイクルコンピューターの取扱説明書をご確認ください。
ギア段数やDi2バッテリー残量の表示方法はサイクルコンピューターの説明書をご確認ください。

ファームウェアのアップデート

SM-BMR1、SM-BMR2、SM-BTR2に対して、それぞれファームウェアは以下のバージョンが必要です。
SM-PCE1またはSM-BCR2を使用し、E-tube Projectにてアップデートしてください。

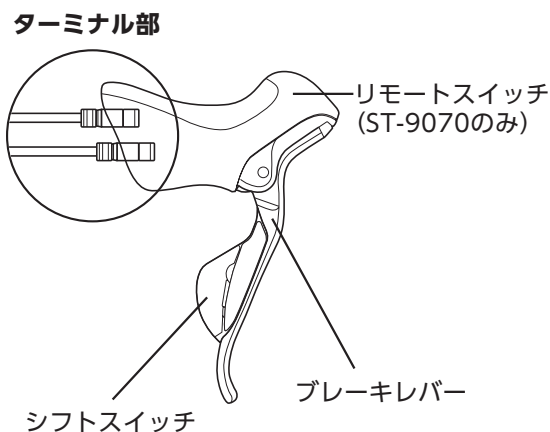
*以下のバージョンでない場合、ペアリングができないことがあります。

SM-BMR1 : Version 3.0.5以降
SM-BMR2 : Version 3.0.5以降
SM-BTR2 : Version 3.0.5以降

- デュアルコントロールレバー内蔵のリモートスイッチをご使用の場合は、SM-EWW01のファームウェアをVersion 3.0.3以降に更新する必要があります。
SM-PCE1またはSM-BCR2を使用し、E-tube Projectにてアップデートしてください。

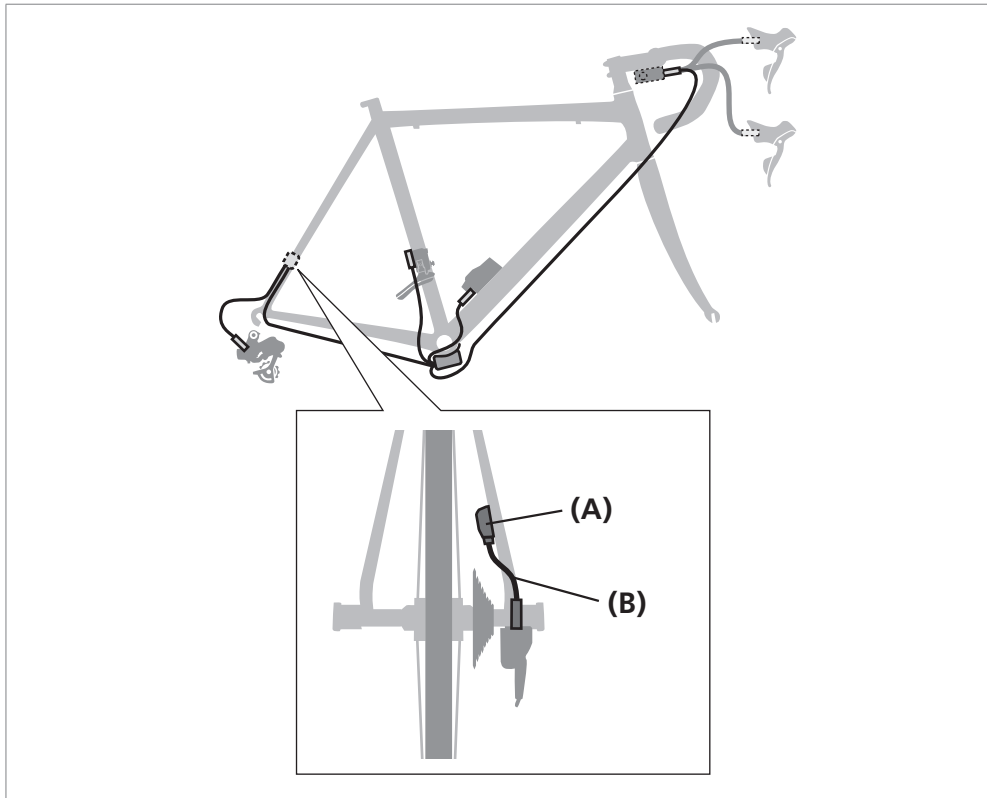
デュアルコントロールレバー (ST-9070のみ) 内蔵のリモートスイッチへの対応について

- デュアルコントロールレバーに内蔵されているリモートスイッチとSM-EWW01を併用することにより、D-FLY対応のサイクルコンピューターおよび関連製品を操作することができます。
- デュアルコントロールレバー内蔵のリモートスイッチはSM-EWW01を介してスイッチ信号を無線で送信します。機能については対応製品によって異なりますので、対応製品の取扱説明書をご確認ください。



取付け

フレーム形状および寸法



- (A) ワイヤレスユニット
- (B) エレクトリックワイヤー



自転車のフレームのシートステー部分にワイヤレスユニット本体を取付けます。

取付け可能なシートステー外周
40mm～75mm

注 意

上記外周の範囲内であっても、ワイヤレスユニット幅を大きく超えるような断面形状のステーには対応しません。

取付け

▶▶ ワイヤレスユニットの取付け

■ ワイヤレスユニットの取付け

1

フロントギアはアウターに、リアギアはトップになるように変速します。

フレームの泥やホコリを拭き取り、濡れている場合はしっかり乾かしてから取付け作業を行ってください。

2

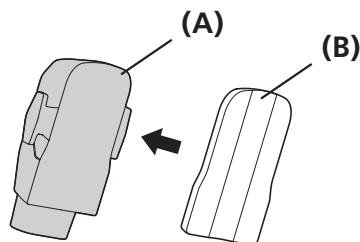
スペーサーは2種類あります。

フレームに合ったスペーサーを選びます。

スペーサーの剥離紙を剥がし、ワイヤレスユニットに取付けます。

ラバーシートの向きに注意してください。

幅が広いほうをコネクター側となるよう貼り付けます。



(A) ワイヤレスユニット

(B) スペーサー

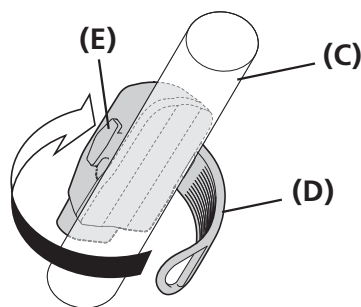


貼り付けたら、ラバーシート全面を指で強く押し付け、約1分くらい保持してください。

3

固定バンドを使って、ワイヤレスユニットをフレームに仮止めします。

固定バンドを片方のフックに引っ掛け、バンドを引っ張ってもう片方のフックに取付けます。



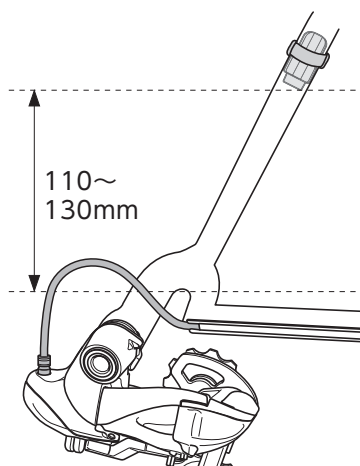
(C) フレーム

(D) 固定バンド

(E) フック

4

取付け位置は、リアハブ軸から110～130mmの高さに設定してください。



注 意

自転車のフレーム内部やシートステー以外の場所に取付けた場合、通信の保証はできません。



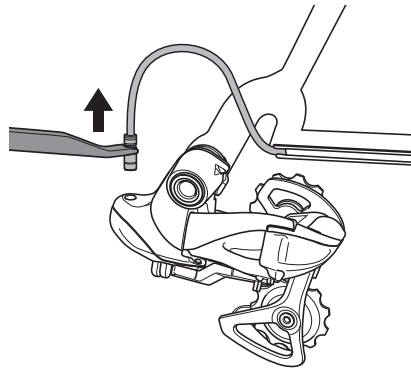
ワイヤレスユニットとリアディレイラーを接続するために、追加で200mm以上のエレクトリックワイヤーが必要です。

取付け

ワイヤレスユニットの取付け

5

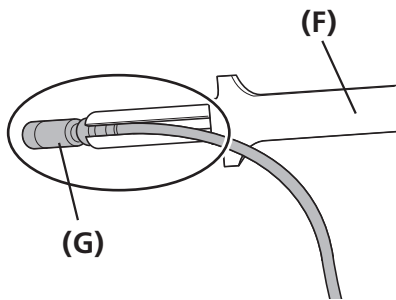
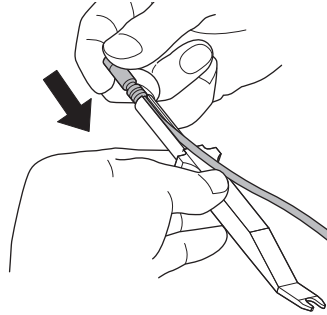
リアディレイラーからエレクトリックワイヤーを抜きます。



6

エレクトリックワイヤーをTL-EW02に通します。

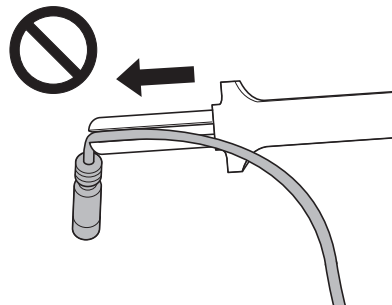
細いエンド部の溝にコネクターの突起を合わせてセットします。



(G)

(F)

OK



不可

注意

エレクトリックワイヤーの取付け、取外しの際は、シマノ専用工具 (TL-EW02) を使用してください。

(F) TL-EW02

(G) プラグ部

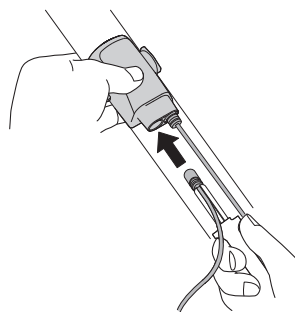
注意

エレクトリックワイヤーを取付ける際に、プラグ部を無理に曲げて取付けないこと。接触不良の原因になることがあります。エレクトリックワイヤーを接続する際はクリック感を伴うまで押し込んでください。

7

ワイヤレスユニットに以下の2本のエレクトリックワイヤーを接続します。

- リアディレイラーから取外したエレクトリックワイヤー
- 追加のエレクトリックワイヤー



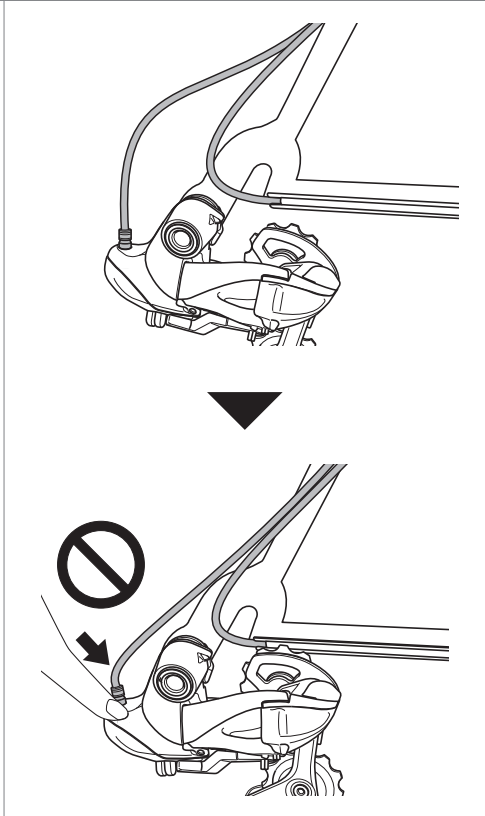
ワイヤレスユニットに対してエレクトリックワイヤーを抜き差しする際は、本体を手で保持しながら作業を行ってください。

8

エレクトリックワイヤーをリアディレイラーに接続します。

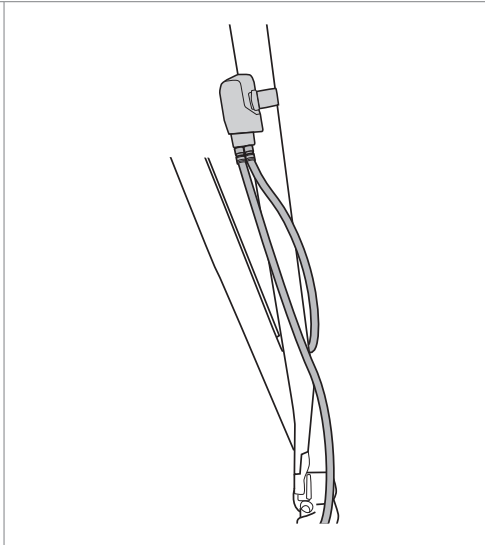
9

エレクトリックワイヤー長さの余裕を確認してください。(Racingタイプのリアディレイラーの場合は、リアディレイラーをフレームに当たる位置まで手で押し上げた状態でエレクトリックワイヤーを確認してください。) エレクトリックワイヤーに余裕がない場合は、ワイヤレスユニットの高さを微調整します。

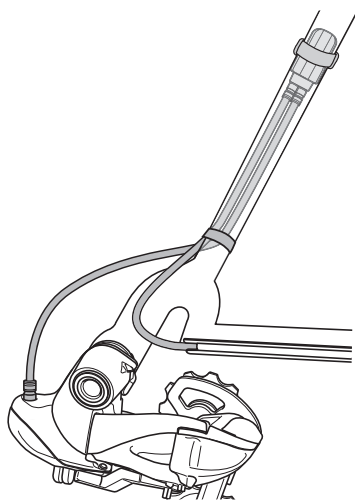


10

ワイヤレスユニットをフレームに固定します。



エレクトリックワイヤーをフレームに固定します。

**注意**

エレクトリックワイヤーが長すぎるとカセットスプロケットやチェーンに干渉する場合がありますので、ビニールテープなどでたるんだエレクトリックワイヤーをフレームに固定してください。



製品改良のため、仕様の一部を予告なく変更することがあります。

お客様相談窓口

☎ 0570-031961 Fax. 072-243-7847

株式会社 **シマノ**

〒590-8577 堺市堺区老松町3丁77番地